

## 京北病院が果たす機能の在り方検討について

### <報告内容>

- 1 はじめに
- 2 京北地域の現状等
- 3 京北病院の現状等
- 4 京北病院が果たす機能の在り方(答申の内容)
- 5 今後の予定

# 1 はじめに

- 京北病院は、昭和33年に開設して以来、地域唯一の病院としての役割を担ってきたが、地域の人口及び患者数の減少等により、安定的な経営が困難になっていること等が課題となっている。
- このような中、将来にわたって安心・安全な医療を提供していくため、京都市立病院機構の第4期中期目標・中期計画（令和5～8年度）に「京北病院が果たす機能の在り方の検討」を掲げ、取組を進めてきた。

## <検討の経過>

### 令和5年度

庁内ワーキングを4回開催。今後の医療・介護ニーズ、地域の動向調査・分析結果をもとに、病院機能の検討パターンについて取りまとめ。京北病院長をはじめ、現場職員にヒアリングを実施。

### 令和6年度

地元関係者や医療・介護関係者、学識者等からなる「京北病院が果たす機能の在り方検討会」を4回開催。検討会には京北病院事務部門のメンバーや、地域から3名（自治振興会2名、福祉あんしん京北ネットワーク協議会1名）が参画。様々な視点から御意見をいただき、在り方方針案を取りまとめ。

### 令和7年度

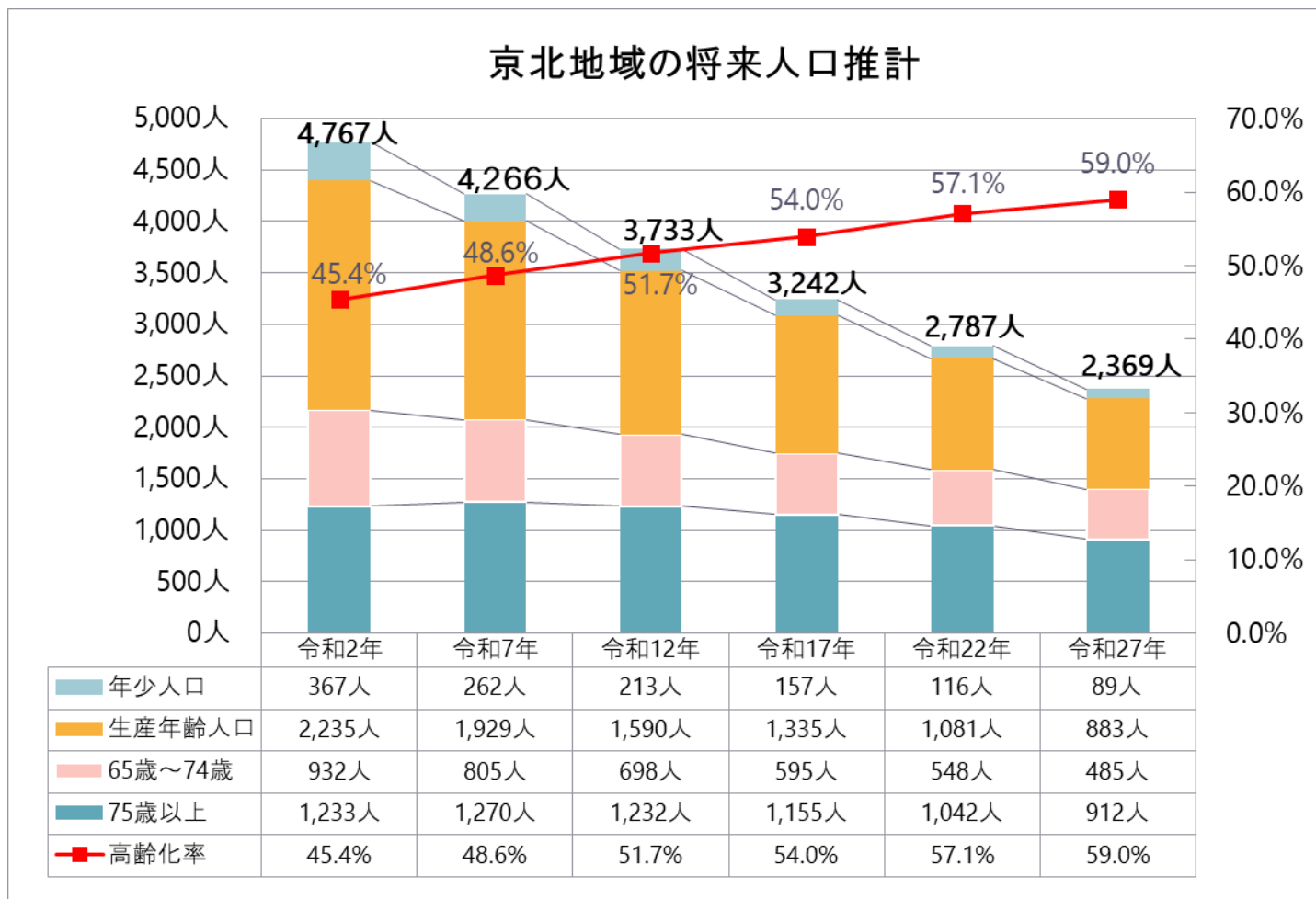
在り方方針案を京都市医療施設審議会（会長：山谷同志社大学名誉教授）に諮問。審議会を2回開催し、3月18日に市長へ答申。

※ 検討の経過等は、京北自治振興会や地域の介護施設等へ情報共有するとともに、周知チラシ「京北病院 地域とともに」をこれまで7回京北地域へ全戸配布し、御意見を常時受付（届いた御意見は22件）。

# 2 京北地域の現状等

## ① 人口の将来推計

- 京北地域の総人口は令和27年には令和2年の約半数となる見込み。
- 65歳以上高齢化率は令和2年時点で45.4%であり、京都市全体と比較しても高齢化が進展している。令和12年には50%を超える見込み。



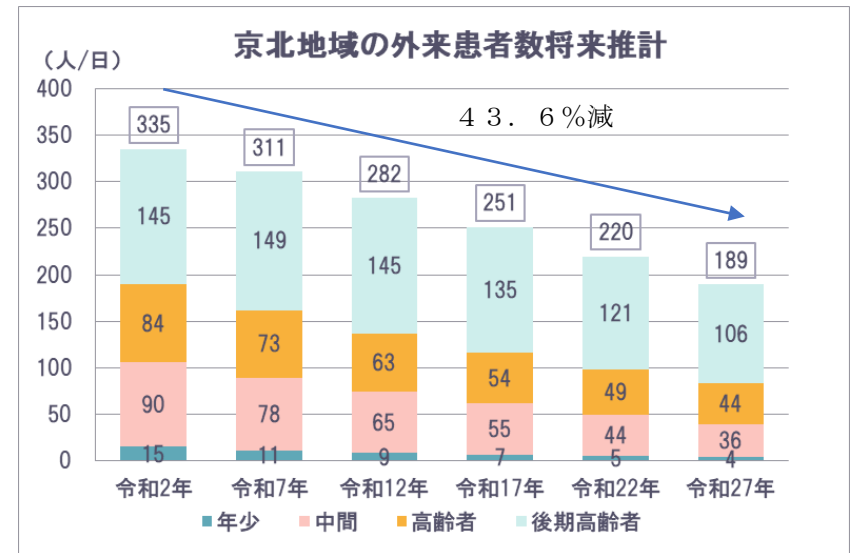
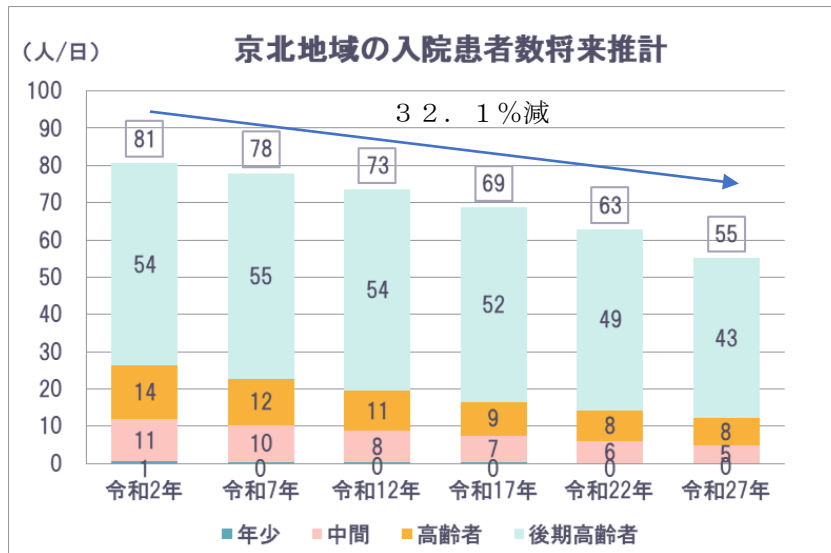
令和2年は京北地域住民基本台帳人口データを使用。

令和7年以降はコーホート変化率法（過去における実績人口かの動勢から変化率を求め、それに基づき将来人口を推計する方法）により推計。

# 2 京北地域の現状等

## ② 受診動向等

- 京北地域の患者数（推計）は、入院で32.1%、外来で43.6%減少する見込み（令和27年／令和2年比）。
- 入院先は、京北病院に次いで第二北山病院（精神）、市立病院、北山病院（精神）、高雄病院（療養）。
- 外来受診先は、京北病院に次いで山本クリニック（京北）、市立病院、明治国際医療大学付附属病院（南丹市）。
- 京北地域の救急搬送人員は年300件程度、そのうち3分の1程度を京北病院で受け入れている。京北病院以外では、市立病院、他市内救急告示病院で受け入れている。

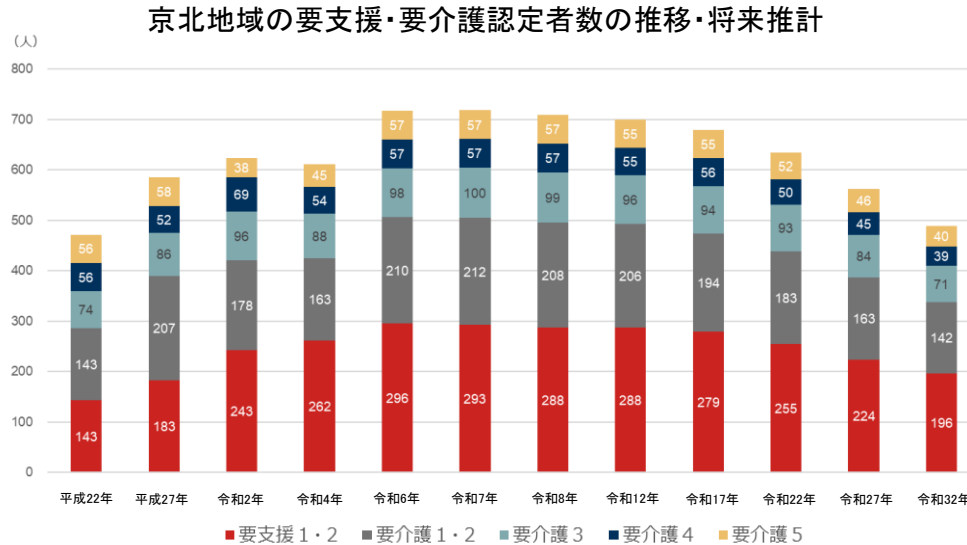


京北地域の将来推計人口に受療率（厚生労働省「平成29年患者調査・京都府」）を掛け合わせて算出。

# 2 京北地域の現状等

## ③ 介護

- 要支援者は令和6年、要介護認定者は令和7年をピークに減少の見込み。



- 京北地域の介護施設は以下のとおり。

施設・居住系介護施設名	施設タイプ	入居要件	総定員・戸数	地域
(福) 北桑会 なごみの里	ケアハウス	自立	22	弓削
(医) 三幸会 ケアサポートセンターけいほく	グループホーム	要介護	18	山国
(福) 北桑会 豊和園	特養	要介護	80	弓削
(福) 北桑会 しゅうざん	特養	要介護	29	周山
NPO介護施設ふるさと園 京北山国ふるさと園	介護付有料老人ホーム	要介護	27	山国
京都市京北介護老人保健施設 <sup>注)</sup>	病院併設型老健	要介護	29	弓削

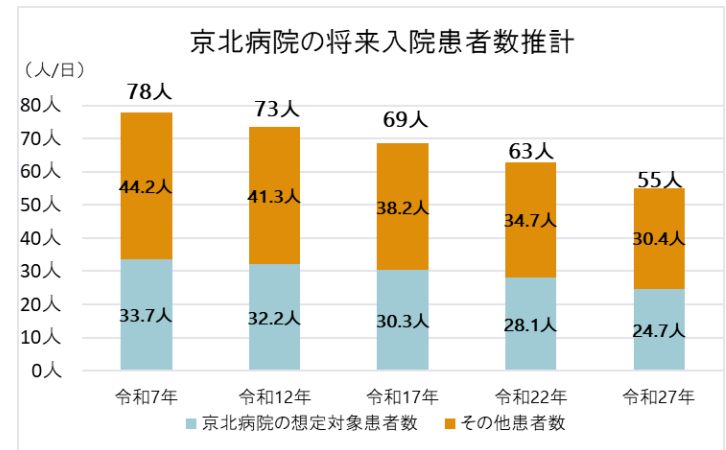
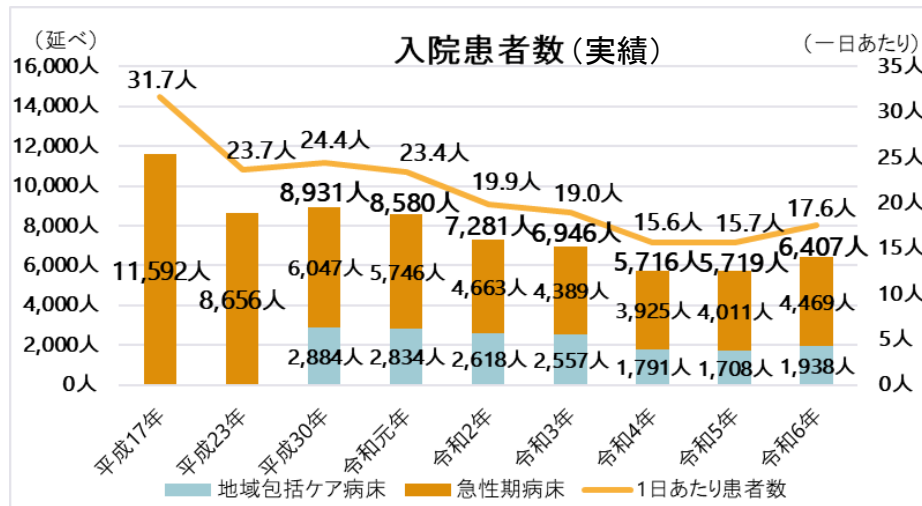
注) 京都市立病院機構が運営

# 3 京北病院の現状等

## ① 入院

- 京北地域の入院患者数のうち、20%程度を京北病院で受け入れている。
- 令和元年と令和6年を比較すると、延べ約2,000人（約25%）減少している。
- 近年は熱中症、尿路感染症、肺炎、閉鎖性骨折など、軽・中等症が多い。
- 入院平均単価は一般病棟が34,273円、地域包括ケア病棟が37,640円であり、地域包括ケア病棟の単価の方が高い（令和6年度）。

⇒ 京北病院で対応可能な患者（軽・中等症や回復期の患者）数は、令和12年には32.2人/日（京北地域全体では73.5人/日）、令和27年には24.7人になると想定される。



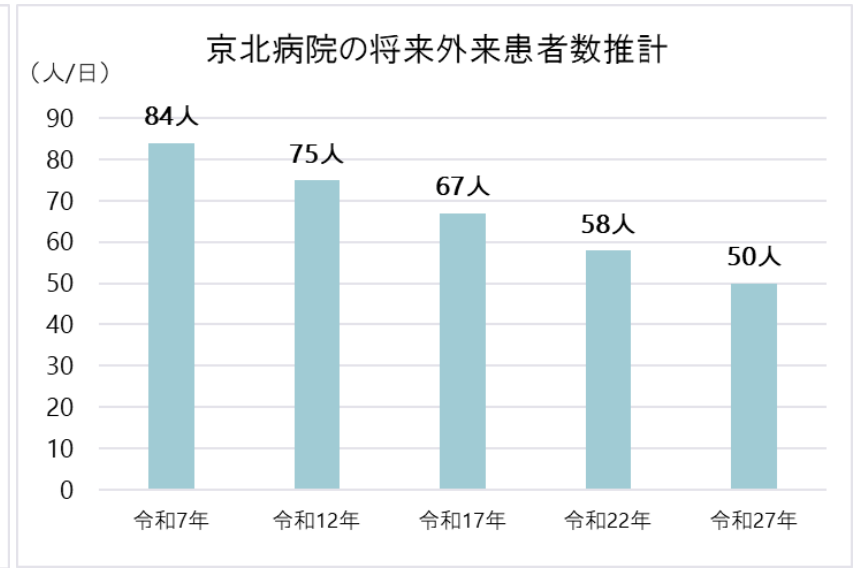
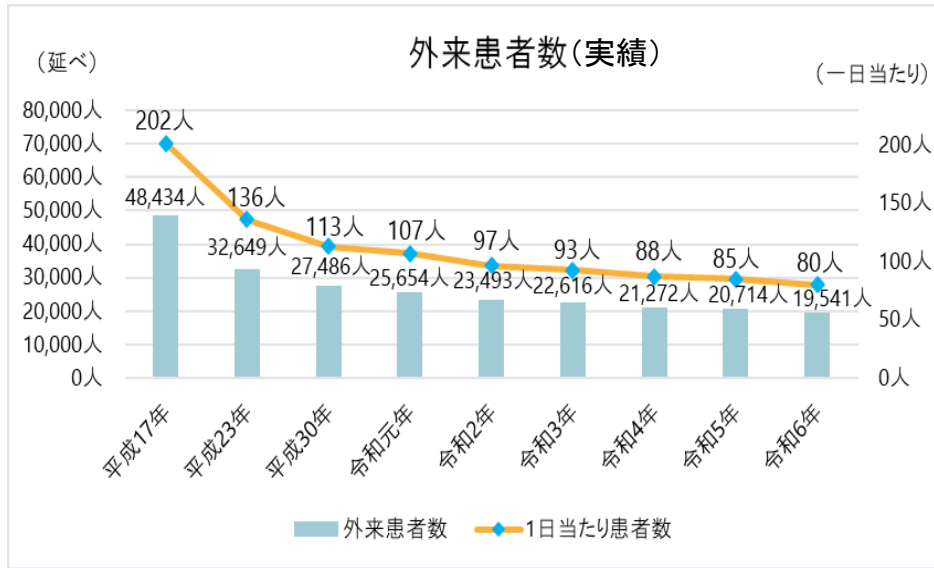
注) 入院患者数の推計は、京北地域の将来推計人口に受療率（厚生労働省「平成29年患者調査・京都府」）を掛け合わせて算出

# 3 京北病院の現状等

## ② 外来

- 京北地域の外来患者数のうち、30%程度を京北病院が担っている。
- 内科、外科に加え、整形外科、皮膚科、小児科等、かかりつけ医機能も果たしている。
- 令和元年と令和6年を比較すると、延べ約6,000人（約24%）減少している。

⇒ 1日あたり外来患者数は、令和12年には75人、令和27年には50人になると想定される。



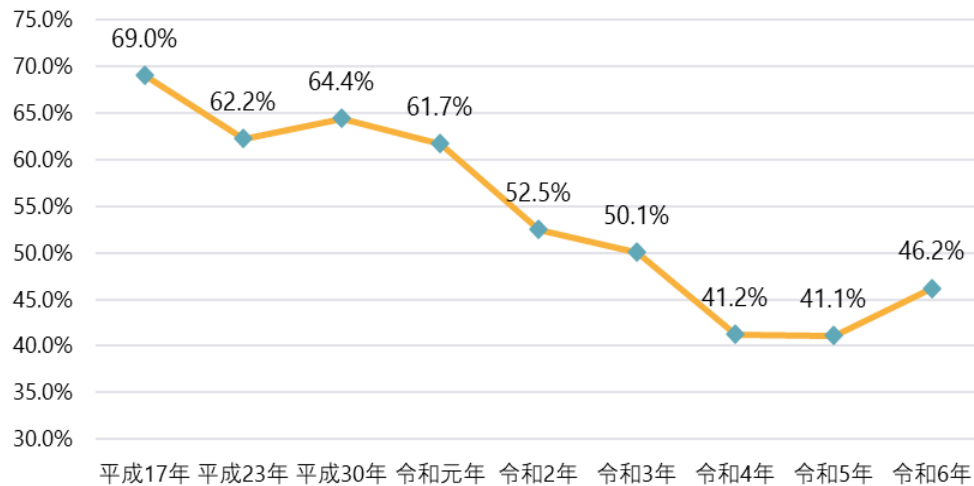
注) 外来患者数の推計は、京北地域の将来推計人口に受療率（厚生労働省「平成29年患者調査・京都府」）を掛け合わせて算出

# 3 京北病院の現状等

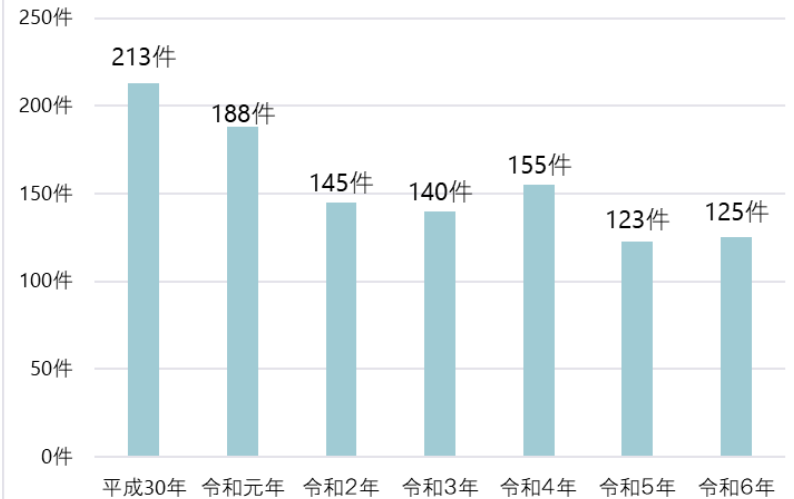
## ③ 病床利用率・救急

- 病床利用率は低下しており、令和元年と令和6年を比較すると15.5ポイント減少している。
- 京北病院の救急車による搬送受入件数は減少しており、令和元年と令和6年を比較すると63件（33.5%）減少している。

病床利用率の推移



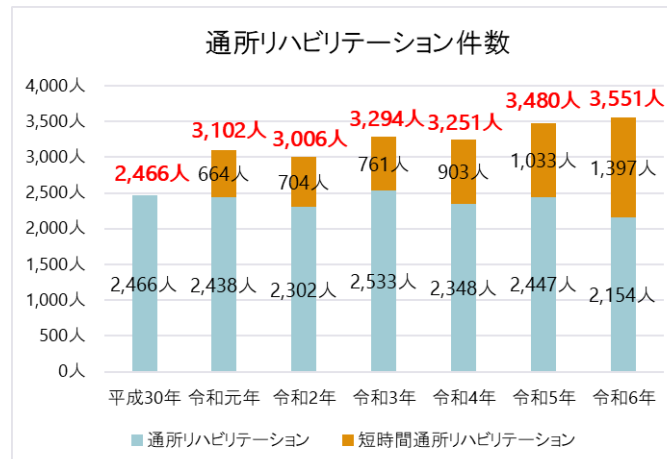
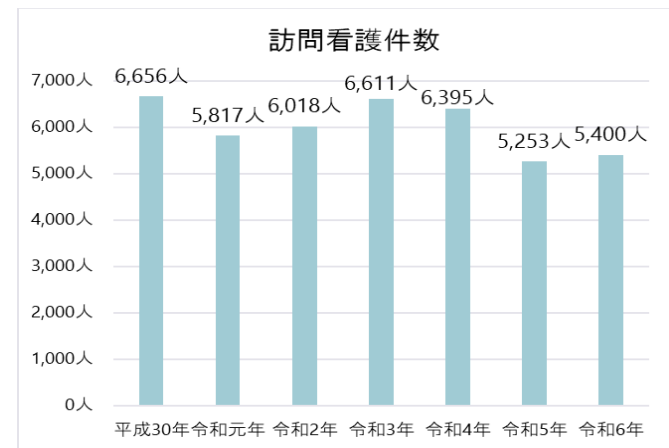
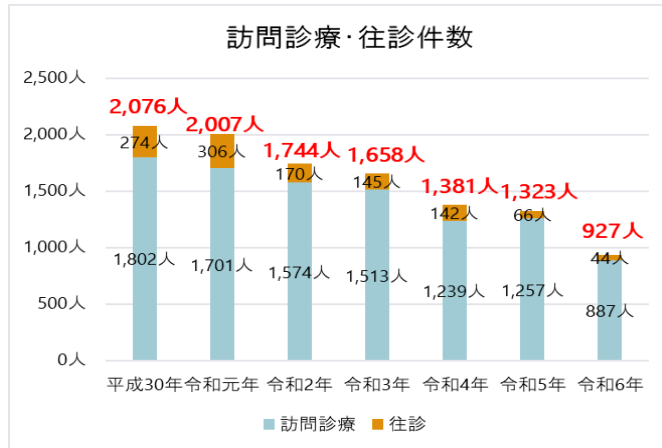
救急車による搬送件数



# 3 京北病院の現状等

## ④ 訪問診療・往診、訪問看護、通所リハビリテーション

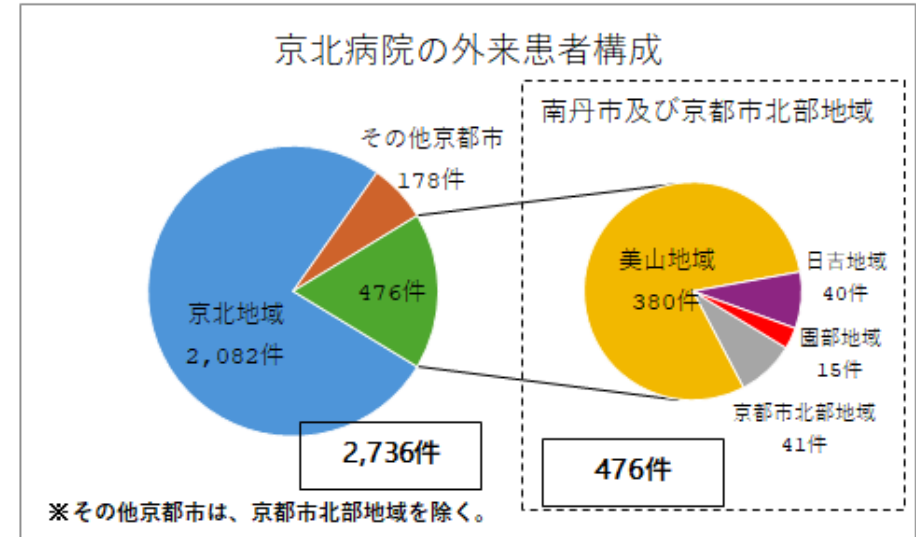
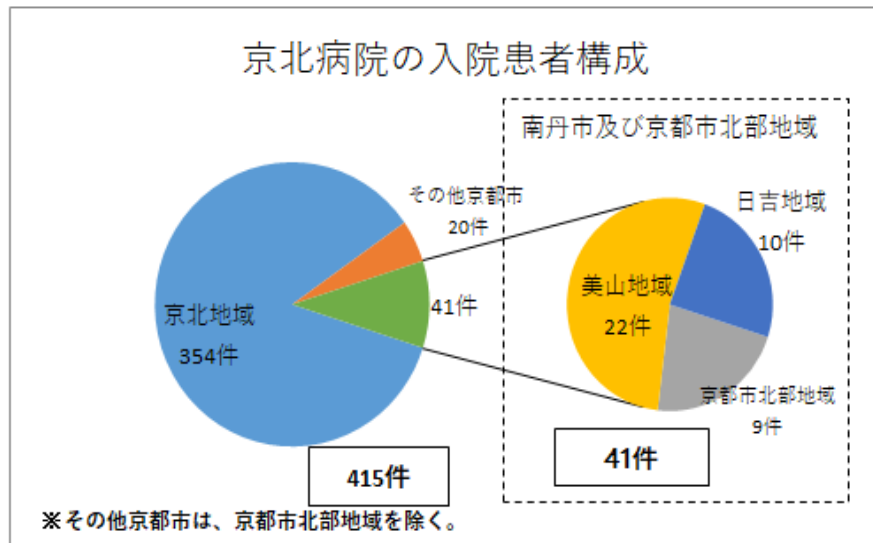
- 訪問診療及び往診の件数は減少しており、令和元年と令和6年を比較すると訪問診療は47.9%、往診は85.6%減少している。
- 訪問看護の件数は減少しており、令和元年と令和6年を比較すると、7.2%減少している。
- 通所リハビリテーションは、短時間の利用が令和元年と令和6年を比較すると733人増加している。



### 3 京北病院の現状等

#### ⑤ 南丹市、京都市北部地域からの患者数

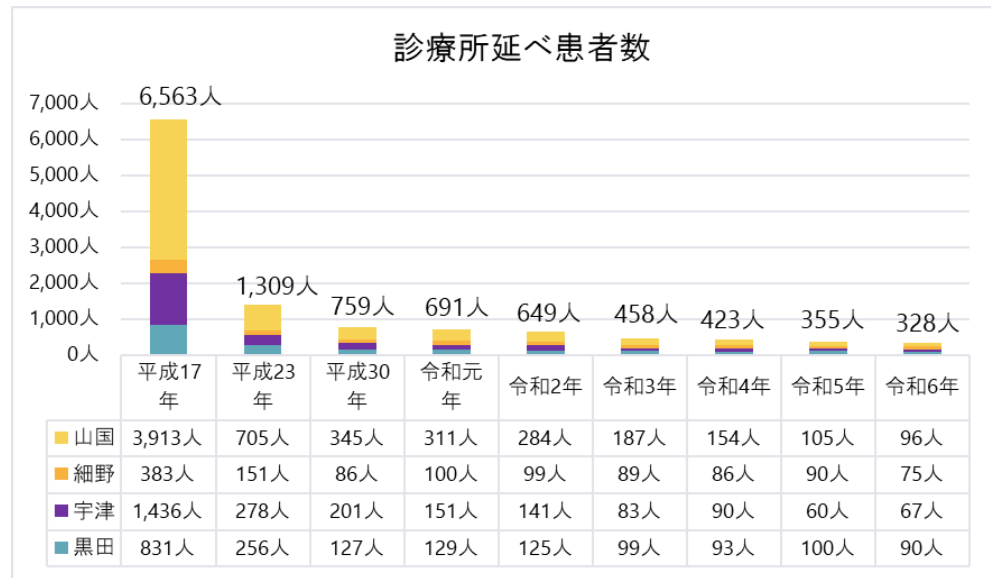
- 入院患者のうち、南丹市及び京都市北部地域の住民は全体の約9.9%であり、そのうち美山地域の患者が約53.7%（令和6年）。
- 外来患者のうち、南丹市及び京都市北部地域の住民は全体の約17.4%であり、そのうち美山地域の患者が約79.8%（令和6年）。



# 3 京北病院の現状等

## ⑥ 診療所

- 京北病院は4つの診療所を運営している（黒田、宇津、細野、山国）。
- 患者数は減少している。
- 診療所を受診している患者の約8割が、京北病院も受診している。

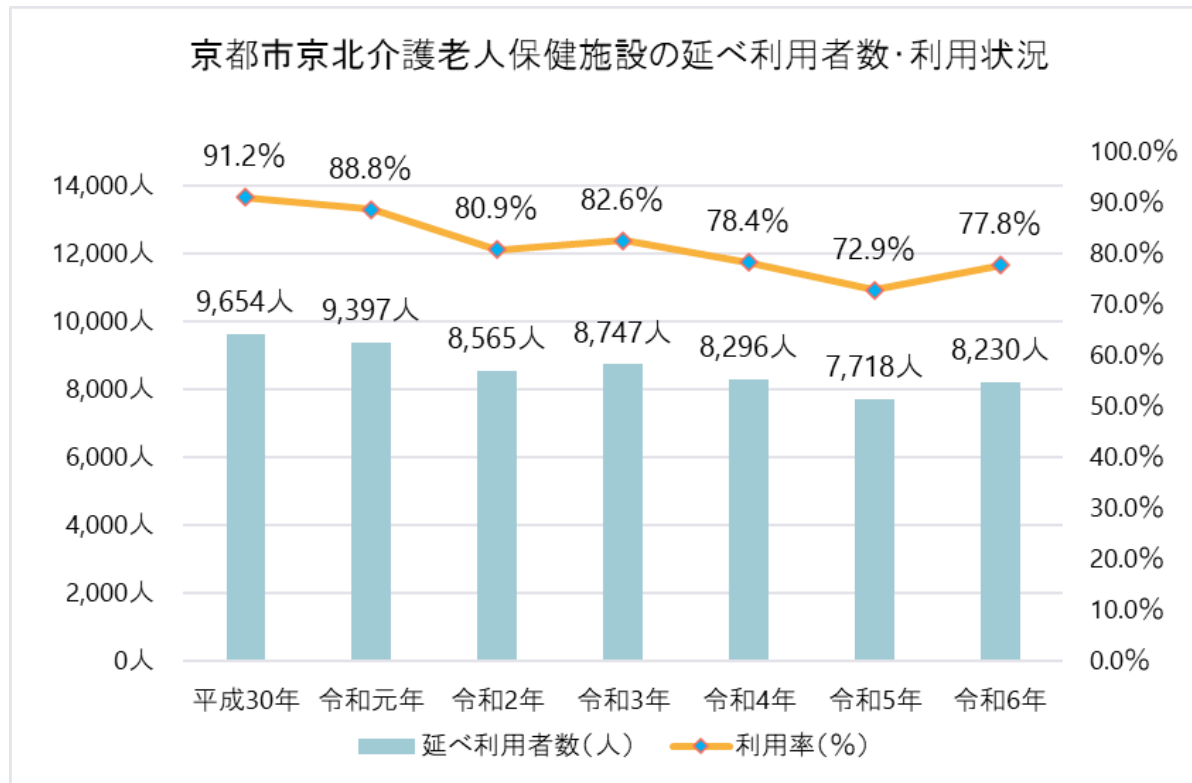


診療所名	黒田診療所 (毎週金曜日)	宇津診療所 (毎週火曜日)	細野診療所 (毎月木曜日)	山国診療所 (毎週水曜日)
実受診者数 (1か月)	6~10人	4~7人	6~7人	8~10人
実受診者数 (1日平均)	2~3人	1~2人	6~7人	2~3人
実患者数	13人	9人	12人	15人

# 3 京北病院の現状等

## ⑦ 介護老人保健施設

- 京北病院の介護療養型介護老人保健施設では、看取りケアが可能であることから長期入所が事実上可能であり、特養と機能が類似している。
- 入所者に占める要介護度3以上の入所者比率は全国平均より高い水準になっている。
- 京北地域の人口減少、京北病院から移行する利用者の減少等により利用率が低下していると推察される。



# 3 京北病院の現状等

## ⑧ 収支の状況

### ○ 京北病院全体

		平成30年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度
収入	収入合計 <sup>注1)</sup>	<b>494,916,332円</b>	<b>428,182,211円</b>	<b>365,365,879円</b>	<b>376,676,085円</b>
	入院収益	258,387,518円	225,141,384円	180,061,788円	210,686,249円
	外来収益 <sup>注2)</sup>	211,869,088円	189,137,605円	176,111,348円	159,403,489円
	その他収入 <sup>注3)</sup>	24,659,726円	13,903,222円	9,192,743円	6,586,347円
支出	支出合計	<b>708,853,203円</b>	<b>687,524,540円</b>	<b>696,697,574円</b>	<b>674,261,456円</b>
	給与費	455,819,962円	452,708,058円	471,566,426円	433,854,099円
	診療材料費	48,554,647円	41,268,346円	37,679,875円	42,538,491円
	その他支出 <sup>注4)</sup>	204,478,594円	193,548,136円	187,451,273円	197,868,966円
収支差		<b>△213,936,871円</b>	<b>△259,342,329円</b>	<b>△331,331,695円</b>	<b>△297,585,371円</b>

注1) 運営費負担金や国、自治体からの補助金を除く。

注2) 診療所収益を除く。

注3) その他収入：室料差額収益、保健予防活動収益、営業外収益等

注4) その他支出：経費、研究研修費、減価償却費、営業外費用等

<運営費負担金の推移（単位：千円）>

注) 令和3年度、4年度はコロナ臨時交付金含む。

30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（予算）	8年度（予算）
200,718	205,488	205,280	288,514	281,607	248,376	179,293	189,899	196,066

### ○ 診療所

		平成30年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度
収入	収入合計	<b>5,728,946円</b>	<b>5,386,560円</b>	<b>5,016,360円</b>	<b>4,429,068円</b>
	診療収益	3,715,946円	3,256,560円	1,761,880円	1,487,068円
	補助金収益 <sup>注)</sup>	2,013,000円	2,130,000円	3,254,480円	2,942,000円

注) 京都府のへき地診療所運営費補助金。

令和5年度及び6年度は、京都府医療機関等物価高騰対策事業交付含む（令和5年度：766,480円、令和6年度：60,000円）

### ○ 介護老人保健施設

		平成30年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度
収入	事業収益	<b>142,268,524円</b>	<b>126,554,554円</b>	<b>118,559,596円</b>	<b>126,968,434円</b>
支出	支出合計	<b>167,634,615円</b>	<b>176,701,092円</b>	<b>162,833,811円</b>	<b>173,817,931円</b>
	給与費	118,569,051円	124,758,150円	112,724,030円	122,455,027円
	材料費	2,709,445円	2,117,462円	1,852,226円	1,952,112円
	その他支出 <sup>注)</sup>	46,356,119円	49,825,480円	48,257,555円	49,410,792円
収支差		<b>△25,366,091円</b>	<b>△50,146,538円</b>	<b>△44,274,215円</b>	<b>△46,849,497円</b>

注) その他支出：経費、研究研修費、減価償却費、営業外費用等

# 3 京北病院の現状等

## ⑨ 建物の状況

- 外来診療棟（昭和56年築）、病棟（平成6年築）は、建物の経年劣化に加え、以前から増改築や改修が繰り返されてきたため、建物のつなぎ目等から雨漏りが発生している。天井や壁面にも多数の染みがある。そのため、建替え又は大幅な改修を含めた検討も必要な状況にある。

	面積	内容
診療棟	1,681㎡	昭和56年全面改築（平成6年改築工事） 築44年
病棟	2,746㎡	平成6年全面改築（平成11年療養型病床群整備） 築31年
厨房棟	101㎡	平成6年全面改築 築31年

※築年数は令和7年時点



# 4 京北病院が果たす機能の在り方(答申の内容)

## ＜基本的な在り方＞

### ア 京北地域における京北病院の役割

- ・ 高齢化が進む京北地域においては、回復期的な役割も担う地域急性期機能、地域唯一の病院として救急機能といった役割が特に求められる。また、災害時の医療提供においても、果たす役割は大きい。

### イ 京北地域における医療の確保と持続可能な運営

- ・ 不採算であっても地域に必要な医療を持続的に提供していくため、外来、入院、救急機能、在宅医療は継続し、医療に特化する必要がある。
- ・ 将来にわたって安心・安全な医療を提供し続けていくために、限られた医療資源を有効活用しながら、診療報酬改定や新たな地域医療構想の理念等を踏まえ、人口減少、高齢化等のニーズに対応していく必要がある。
- ・ 市立病院との一体運営のメリットを活かすとともに、地域の協力を求めながら、地元の方の積極的な採用等、京北病院の主体的かつ柔軟で持続性を高める運営の取組が求められる。

### ウ 京北地域にある福祉・介護・医療サービスとの連携、役割分担

- ・ 人口減少や高齢化が進む京北地域において、地域の介護施設や福祉サービス等と適切に連携・役割分担し、地域全体で医療・介護・福祉を支える必要がある。

# 4 京北病院が果たす機能の在り方(答申の内容)

## ② 機能の在り方

### <京北病院の機能>

#### 入院

京北地域唯一の病院として、入院診療機能を維持（38床全床地域急性期に転換）

#### 外来

現状の外来診療をベースに、柔軟に対応

#### 訪問診療・訪問看護

京北地域のニーズに応えるため、訪問診療及び訪問看護を継続

#### 診療所

通院手段や訪問診療等を確保し、医療設備が整った京北病院に診療機能を集約化することで、4つの診療所を廃止

将来の医療提供体制確保に向けて、オンライン診療の活用（新規）

#### 介護老人保健施設

地域内に複数の介護施設があること、特養等の他の入所施設と役割が重なる部分が多いこと、地域の特性上人員の確保が困難であることから、京北病院は医療機能に特化し、地域の介護施設等と連携・適切な役割分担の下、老健は廃止

#### 通所リハビリテーション

住み慣れた京北地域での生活を支援するため継続

## 4 京北病院が果たす機能の在り方(答申の内容)

### <運営・経営>

#### 医療従事者等の確保

市立病院との一体運営であるメリットも活かし、京都市立病院、その他医療機関からの人材の確保

#### 安定的な運営・経営

限られた医療資源を効率的かつ効果的に活用しながら、人口減少や高齢化等の外部環境に的確に対応

#### 地域との連携

地域の介護施設と連携し、高齢者を地域全体で支える

#### 施設

京北地域の医療拠点であることを踏まえた施設づくり  
老朽化等を踏まえ、再整備も並行して検討する

# 5 今後の予定

## ① 第5期中期目標の策定

- 令和8年度に、答申を踏まえた第5期中期目標・中期計画（令和9～12年度）を策定。

## ② オンライン診療

- 高齢の方にも利用しやすいオンライン診療事業の実施に向け、京北病院スタッフや看護師が寄り添い、機器の操作や問診の補助を行うなど、京北地域の実情に即した実施手法や運営体制の検討、実行及び効果の検証に取り組んでいく。

## ③ 京北地域の介護施設等との連携

- 医療・介護の複合ニーズ等に対応し、京北地域全体で医療・福祉・介護を支えていくため、京北地域の介護施設等との連携を図る。

# (参考)京都市医療施設審議会について

京都市が設置する医療施設の運営の基本方針に関する事項について、市長の諮問に応じ審議する。

## <委員名簿>

○は会長（五十音順・敬称略）

氏名	所属・役職
新納 麻衣子	公認会計士
竹田 史門	京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会 副会長
武田 隆久	京都私立病院協会 会長
田中 裕介	京都市老人福祉施設協議会 副会長
豊田 久美子	京都府看護協会 会長
南島 和久	龍谷大学 政策学部教授
濱島 高志	京都府医師会 監事
○山谷 清志	同志社大学 名誉教授

# (参考)京北病院について



## ＜概要＞

- ・ 京北地域の唯一の病院として、昭和33年に開設。
- ・ 病院運営は、平成23年に地方独立行政法人法に基づき、京都市立病院機構へと移行し、京都市立病院と一体的運営のもと、新たに介護老人保健施設、通所リハビリ施設、居宅介護支援事業所を開設するなど、高齢化をはじめとする地域の実情に応じた業務の多角化を行い、医療と介護サービスの機能強化を図ってきた。

所在地	京都市右京区京北下中町烏谷3番地	
開設年月日	平成23年4月1日(京都市立病院機構として開設。国保京北病院としては昭和33年5月1日開設、平成17年4月1日京都市編入により京都市立京北病院)	
築年数	外来診療棟：昭和56年築、病棟：平成6年築	
規模	(土地)13,178㎡ (建物)5,518㎡	
診療科目	内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科(7科)	
病床数	一般病床38床	
診療所	黒田、宇津、細野、山国の4箇所	
関連施設	訪問看護ステーション	平成7年に開設、訪問看護師等が定期的に患者宅を訪問し、主治医の指示を受けながら看護サービスを提供する。(「京北病院訪問看護ステーション」として運営)
	介護老人保健施設	平成23年4月に開設、29床(従来の療養病床を介護老人保健施設に転換し、「京都市京北介護老人保健施設 はなふるさと」として運営)
	通所リハビリテーション	平成23年10月開設、定員10人(1日当たり)。要支援又は要介護の認定を受けた方を対象に通所リハビリテーション(デイケア)を行う。(「京都市京北通所リハビリテーション はなふるさと」として運営)